

経済諸会議の動向（４）

田中 修

はじめに

2月5-6日に人民銀行工作会議が開催された。会議では、周小川行長が最後と思われる講話を行った。通常、この会議は1月上旬に開催されており、1ヵ月遅れることは異例である。今回は、銀行業監督管理工作会議が1月25-26日、全国保険監督管理工作会議が1月22日、証券監督管理会議が1月31日と、人民銀行工作会議より前に開催されており、これもやや異例のことである。

本稿では、会議の概要を紹介する。

1. 2017年の回顧

2017年、人民銀行系統組織は、党中央・国务院の手配を真剣に貫徹し、「四つの意識」を確実に増強し、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、新発展理念を牢固に樹立して貫徹実施し、経済発展の新常態に適応し、これを把握・リードし、金融政策の穏健・中立性を維持し、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止の各政策を全面的にしっかり行い、経済・金融の平穏で健全な発展を有力に促進した。

（1）金融政策とマクロ・プルーデンス政策という2つの支柱によるコントロールの枠組みを初歩的に確立した

経済・金融の情勢変化に応じ、金融政策手段を組合せとオペレーションのテンポを合理的に安排し、銀行システムの流動性の適度な中立性・基本的な安定を擁護した。

価格（金利）のレバレッジ作用を十分発揮し、市場金利の平穏な運営を誘導した。

マクロ・プルーデンス管理を強化・改善し、簿外の理財を広義の貸出指標の範囲に組み入れた。

金利の市場化改革を深化させ、金融政策のコントロール・伝達のメカニズムを一層健全化した。

人民元レートの商品化された形成メカニズムを整備し、合理的な均衡水準における人民元レートの基本的安定を維持した。

全口径にわたるクロスボーダー融資へのマクロ・プルーデンス政策を整備し、クロスボーダー資本のバランスのとれた流動を促進した。

穏健な金融政策とマクロ・プルーデンス政策の実施は、サプライサイド構造改革と経済の質の高い発展のために、適切なマネー・金融環境を作り上げた。

(2) 金融リスクの防止・解消で成果を得た

金融リスクの防止・コントロールをより重要と位置づけ、金融監督管理の不足部分を早急に補完し、金融監督管理の統一的な企画・協調を深く推進し、国务院金融安定発展委員会弁公室の各事務を着実にしっかり行った。

市場化された債務の株式転換を積極的に推進し、生産能力過剰業種の企業債務を適切に処理し、高レバレッジのリスクを確実に防止・解消した。

金融安定の制度的基礎を一層打ち固め、システミックリスクを発生させない最低ラインをしっかりと守った。

(3) サプライサイド構造改革への金融支援を有力に推進した

「中国製造 2025」戦略の実施、北京・天津・河北の一体化と雄安新区の建設、生態環境保護等の重点分野への金融支援を増やした。

農村金融・インクルーシブファイナンスの改革・イノベーションを深化させ、精確な貧困支援を全力で推進し、小型・零細企業への金融サービスを改善した。

「都市ごとに分けて施策を行う」差別化した住宅ローン政策を引き続き実施し、不動産金融へのマクロ・プルーデンス管理を強化し、バラック地区の改造等社会保障的性格をもつ安住プロジェクトの建設を積極的に支援し、住宅賃貸市場の育成・発展を支援した。

(4) 金融市場のイノベーションを一層進展させた

市場制度を整備し、債券市場の取引を規範化し、会社の信用債券への監督管理の協調を強化した。

市場のイノベーション・開放を着実に推進し、「起業・イノベーション」のための金融債券・貧困支援手形を推進し、「債券通」(ボンドコネクト)¹を成功裏に実施した。

インターネット金融のリスク特別対策を積極かつ穏当に推進し、インターネット金融の監督管理とリスク防止の長期に有効なメカニズムの建設を推進した。

(5) 金融の対外開放と国際的影響力を全面的に拡大した

「シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード」建設への金融支援の総体計画を制定・公布し、グローバル経済のガバナンスと国際金融の基準の制定・実施に深く参加し、バイ・地域と香港・マカオ・台湾との金融協力を深く展開した。

(6) 実体経済発展への外貨管理サービスで、新たな成果を得た

外貨の重点分野の改革を深化させ、貿易・投資の自由化・円滑化を一層促進した。

国外投資の外貨管理制度を整備し、クロスボーダー資金流動のリスクを確実に防止した。

地下銀行・インターネットによる為替投機等の外貨の違法な犯罪活動を厳格に取り締ま

¹ 海外投資家が、香港経由で中国本土の債券を売買できる制度。

った。外貨準備の経営管理を整備した。

(7) 人民元の国際使用を着実に拡大した

政策の枠組みを引き続き最適化し、貿易決済・直接投資・金融市場取引のレベルにおいて人民元のクロスボーダーでの循環的使用を推進し、人民元の受容の程度を一層高めた。

人民元は、連続7年わが国の2番目のクロスボーダー収支通貨となり、グローバルな通貨システムにおける地位は安定を維持した。

(8) 金融サービスと管理のレベルは顕著に上昇した

金融の法治、金融統計、研究活動は新たなブレークスルーを得た。会計財務の転換が積極的に推進された。

個人の銀行口座の分類管理メカニズムを整備し、無許可経営の支払決済業務への特別対策を深く展開し、顧客への支払準備金の集中管理を実施して、支払決済業種を健全かつ平穩に発展させた。中央銀行の情報システムの建設と管理を引き続き強化した。大口現金管理を強化し、小額人民元のサービス水準を高め、通貨発行サービス機能を引き続き向上させた。国庫經理の質・効率を不断に高めた。

市場資源の整理・合理化と市場化された個人信用情報収集機関の共同建設を推進し、法に基づき、法規に違反した信用情報収集活動を調査・処分し、社会信用体系の建設を全面的に推進した。巨額・疑わしい取引の管理を全面的に整備し、反マネーロンダリング・反テロ資金調達の活動を着実に推進した。金融消費權益の保護とインクルーシブファイナンスを一層強化した。参事の調査研究活動の質が着実に向上した。

(9) 内部管理の成果が顕著であった

支店管理、企業・事業単位の管理、労働組合組織・青年組織の管理、内部監査、後方勤務の保障、安全確保、幹部離退職等の各施策で新たな成果を得た。

2. 2018年の政策

(1) 基本的考え方

2018年、人民銀行系統組織は、第19回党大会、中央経済工作会議、全国金融工作会議精神を全面的に深く貫徹し、習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想を導きとして、金融政策・金融行政への党の指導を強化しなければならない。安定の中で前進を求めるといふ政策の総基調を堅持し、新発展理念を堅持し、わが国経済社会の主要な矛盾の変化をしっかりと押さえ、質の高い発展という要求に基づき、サプライサイド構造改革を主線とすることを堅持し、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止の各政策を統一的に企画・推進しなければならない。金融政策とマクロ・プルーデンス政策という2つの支柱による健全なコントロールの枠組みを整備し、金融政策の穩健・中立性を維持し、重

大金融リスクの防止・解消の堅塁攻略戦をしっかりと戦い、金融の改革開放の進展を大いに推進し、金融が更に好く実体経済のために奉仕することを促進しなければならない。

(2) 2018年の主要任務

①金融政策の穏健・中立性を維持する

多様な金融政策手段を総合的に運用し、銀行システムの流動性の合理的安定を維持し、マネー・貸出と社会資金調達規模の合理的伸びを促進する。

サプライサイド構造改革を一層支援し、国民経済の重点分野と脆弱部分に対して金融機関が支援を強化するよう誘導し、軍民融合発展・農村振興等の国家戦略への金融サービスをしっかりと行い、貧困が深刻な地域への金融による精確な貧困支援を大いに推進する。

②金融リスクを確実に防止・解消する

金融リスクの研究・判定及び重点分野のリスクの防止・コントロールを強化し、金融リスクのモニタリング・評価・事前警告・処理のシステムを整備する。

マクロ・プルーデンス政策の枠組みを一層整備し、シャドーバンキング・不動産金融等へのマクロ・プルーデンス管理を強化する。

③重要分野とカギとなる部分の改革を適切に推進する

金利の市場化改革を深化させ、金利の波及メカニズムを引き続き模索し、金利のコントロール能力を増強する。

市場による為替レートの決定を強化し、合理的な均衡水準における人民元レートの基本的安定を維持する。

金融インフラの統一的な監督管理と相互結合を強化する。

④金融市場の平穏で健全な発展を引き続き推進する

会社の信用債券の発行許可と情報開示の分類・統一を推進し、債券デフォルトの処理メカニズムを整備する。債券市場の双方向への開放を拡大する。

住宅金融システムを整備し、住宅賃貸を金融支援する健全なシステムを確立する。

インターネット金融の監督管理とリスク防止の長期に有効なメカニズムを確立・整備する。

⑤人民元の国際化を着実に推進する

⑥国際金融協力とグローバル経済・金融のガバナンスに深く参加する

⑦外貨管理体制改革を一層推進する

⑧金融サービス・管理のレベルを全面的に高める

⑨内部管理を引き続き強化する

(3) その他²

人民銀行系統組織の党建設を引き続き強化し、政治建設によりリードし、党内を全面的に厳しく統治する主体の責任制を深く実施しなければならない。各レベルの党組織・党員は、習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想と第19回党大会精神を深く学習・宣伝・貫徹し、テーマの教育活動を真剣に展開し、政治建設を第一と位置づけることを堅持し、政治的立場・政治方向・政治原則・政治路線において習近平同志を核心とする党中央と高度な一致を維持しなければならない。

(4) むすび

2018年は、第19回党大会精神のスタートの年であり、改革開放40周年であり、小康社会の全面的実現に決勝し、第13次5ヵ年計画の前半の成果を受けて後半を切り開くカギとなる一年であり、中央銀行の各政策をしっかりと行う意義は重大であり、任務は非常に困難である。

人民銀行系統組織は、引き続き習近平同志を核心とする党中央の周囲に緊密に団結し、党中央・国务院の政策決定・手配を真剣に貫徹実施し、地道にしっかりと取り組んで積極的に成果を上げ、中央銀行の各政策を創造的にしっかりと行い、経済・金融の持続的で健全な発展を促進し、中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現するために、パワーを貢献しなければならない。

(2月9日記)

² ここは、政治スローガンであるので、ポイントにとどめる。